



平成 27 年 5 月 26 日

各 位

会 社 名：ハリマ共和物産株式会社
(コード：7444 東証第2部)
代表者名：代表取締役社長 津田 隆雄
問合せ先：代表取締役副社長 津田 信也
(TEL：079-253-5217)

(訂正) 「平成 27 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 27 年 5 月 11 日に発表しました当社「平成 27 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正がありましたのでお知らせいたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

【訂正箇所】

添付資料 3 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析
 - (2) 財政状態に関する分析

(訂正前)

- (2) 財政状態に関する分析

総資産は、前連結会計年度に比べ 733 百万円増加して 20,469 百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加 1,065 百万円、投資有価証券の増加 585 百万円、受取手形及び売掛金の減少 643 百万円であります。

負債は、前連結会計年度に比べ 408 百万円減少し、7,078 百万円となりました。主な要因は短期借入金の減少 490 百万円、未払法人税等の減少 114 百万円、長期借入金の増加 200 百万円であります。

純資産は、前連結会計年度に比べ 1,141 百万円増加して 13,390 百万円となりました。主な要因は当期純利益 846 百万円です。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは前期に比べ 677 百万円増加し、2,024 百万円となりました。これは主に仕入債務が 76 百万円減少し、法人税等の支払額が 204 百万円増えたものの、売上債権が 643 百万円増加したことによるものであります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは前期に比べ 333 百万円減少し、739 百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が 408 百万円あったこと、また投資有価証券の取得による支出が 288 百万円あったことによるものであります。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは前期に比べ 297 百万円減少し、219 百万円となりました。これは主に長期借入金が純額で 200 百万円増加したものの、短期借入金が純額で 490 百万円減少したことによるものであります。

(訂正後)

(2) 財政状態に関する分析

総資産は、前連結会計年度に比べ733百万円増加して20,469百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加1,065百万円、投資有価証券の増加585百万円、受取手形及び売掛金の減少643百万円であります。

負債は、前連結会計年度に比べ408百万円減少し、7,078百万円となりました。主な要因は短期借入金の減少490百万円、未払法人税等の減少114百万円、長期借入金の増加200百万円であります。

純資産は、前連結会計年度に比べ1,141百万円増加して13,390百万円となりました。主な要因は当期純利益846百万円です。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは前期に比べ677百万円増加し、2,024百万円となりました。これは主に仕入債務が76百万円減少し、法人税等の支払額が204百万円増えたものの、売上債権が643百万円減少したことによるものであります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは前期に比べ333百万円減少し、739百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が408百万円あったこと、また投資有価証券の取得による支出が288百万円あったことによるものであります。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは前期に比べ297百万円減少し、219百万円となりました。これは主に長期借入金が純額で200百万円増加したものの、短期借入金が純額で490百万円減少したことによるものであります。

以 上